

**調査期間** 2007年4月1日～継続中  
**所在地** 伊勢原市西富岡  
**時代** 近世、中世、奈良・平安、古墳、  
縄文、旧石器  
**調査原因** 中日本高速道路株式会社による  
新東名高速道路建設事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査  
**遺跡位置** 小田急小田原線伊勢原駅の北方  
約2kmの富岡丘陵に位置する。



### 主な調査成果

近世から旧石器時代の遺構や遺物が多数発見されています。近世では、耕作に関連する畝状遺構や土坑が見つかっています。また、渋田川に面した斜面に切り土整地した付近からは、建物とそれに付随する井戸や土坑墓などがまとまって見つかっています。中世では、石敷きの路が見つかっています。この路は東西に約565m、幅約1mで富岡丘陵に向かって登り高配で一直線に伸びた後、丘陵に沿って南に向きを変えています。古代では、竪穴住居跡や掘立柱建物跡が見つかっています。掘立柱建物跡は、竪穴住居跡の分布域よりも高い位置で見つかり、この内1棟は溝が全周する布堀り工法で構築されています。縄文時代では、住居跡や土坑、集石などが見つかっています。集石の底部からは、炭化材が見つかっています。旧石器時代では、L1H～L2層を中心とする石器群が見つかっています。



11区 H19号掘立柱建物跡全景



15区中世路 C1路全景



15区 J3集石断面及び炭化物出土状況



15区旧石器遺物出土状況